

ちょっと聞かせて♪
まちかどインタビュー

今回は、富士見町在住の写真家 西村豊さんに
ヤマネについて解説していただきました。



西村 豊さん

1996年に富士見町に移住、フリーの写真家として活動中。

富士見町の生涯学習や学校教育の中で、四季を通じ自然観察会を行い、野生動物の姿を多くの人に紹介しています。

主な著書

◆ヤマネにあえた日 小さな国の天然記念物 (光村推古書院)

◆ヤマネさん お山にかえるまで (アリス館)

二ホンヤマネは、国の天然記念物であり準絶滅危惧種にも指定されたとても貴重な野生動物です。

特徴は、頭の後ろから尻尾の付け根にかけて幅約1センチの黒い筋が1本あり、尻尾にはリスのように平たく毛が生えています。

このヤマネは、富士見町でも棲息が確認されています。ヤマネは、猟師ですら一生に一度会えればとても幸運な動物と言われていますが、近年森林の開発などにより一般住宅、別荘などで子育て中や冬眠中のヤマネが発見されることが増えてきました。

そこで、お願いがあります。冬眠時のヤマネを触ると冷たいので温める人がいますが、温めて起こしてしまうと、冬眠するためのエネルギーを使い過ぎてしまい、春まで冬眠が出来なくなってしまうです。

見つけた時は、そのままの状態ですとしておくか、居て困る場合は、役場や地方事務所の林務課に連絡をしてください。可愛いからと飼うことは、決してしないでください。

ヤマネは、一見ネズミと間違われ駆除されることがありますが、森の妖精の様な生きものが、この富士町にいることは大変素晴らしいことです。町民の皆さんで、この貴重な野生動物を護っていきましょう。(西村 豊)

【富士見町議会では】

西村先生からヤマネの生態や諏訪地域での生息状況、発見時のエピソードなどをお聞きしました。ヤマネという愛らしく希少な野生動物を護っていくために、本誌でご紹介することにも、議員名刺で広く保護を呼びかけていきます。

活動報告



2/15～16 西伊豆町議会との交流

議会でも姉妹町の静岡県西伊豆町議会の皆さんと行き来し、交流を重ねています。2月には当議会が西伊豆町を訪問し、当面の課題等を話し合った後、町の施設を見学させていただきました。



2/28 教育委員会との懇談会

大分県豊後高田市は「学びの21世紀塾」として無料塾を開講し、6年連続県内学力1位の成果を上げています。これを参考に、富士見町が進める「教育のまちづくり」について、教育委員の皆さんと意見交換を行いました。

編集後記

昨年5月の議員改選で誕生した8名の新人議員も、3月議会で一年間の全議会を経験しました。6月の国保料引き上げ問題、そして3月議会の条例及び予算の修正など、新人ではありませんがそれぞれの立ち位置から活発に議論されてきたように思います。

8月にスタートした議会改革検討委員会も、話し合い、勉強会を重ね一つの目標に向かって進み始めました。議員は町民の代表であり、議会は常に町民にとつての利益とは何なのか考えていかなければなりません。

まだまだ勉強不足ではありますが、町民の皆さんとともに歩む議会を目指していきたいと思えます。

(佐久祐司)

〈富士見町議会へご意見をお寄せください〉

【No.121】 2012年4月15日 発行

発行:富士見町議会／編集:議会広報編集委員会
委員長 佐久 祐司 副委員長 平出 隼仁
委員 小池 勇 宮下 伸悟

〒399-0292

長野県諏訪郡富士見町落合10777

TEL:0266-62-9403 / FAX:0266-62-9320

E-mail:gikai@town.fujimi.lg.jp

印刷 (有)富士見印刷